

澁陽

第60号



令和元年（2019年）
12月6日
書道研究 澁陽会

〒524-0037
滋賀県守山市梅田町1-7
(守山駅西口から
北へ約100m)
URL: <http://www.kouyukai-sho.com/>

編集人：改発蒼風

澁陽会創立四十周年記念事業 第四十回 澁陽書道展に向けて

今年創立四十周年を迎える澁陽会の記念すべき四十回目の澁陽書道展の作品が、生徒部は九月二十九日に、成人部は十月二十七日に揃った。また、今年には四十年を振り返る写真パネル展示や、定期講座作品、出品者全員がハガキ程のサイズに書いた五百点近くの新元号「令和」も展示する。

会期…十二月六日（金）～八日（日）

九時半～十七時

（最終日は十五時まで）

*十二月八日（日）十三時から

入賞者の授賞式

場所…草津市草津クレアホール

展示ホールとハワイエ

成人選別会の様子 ↓



生徒部選考会の様子 ↑



展示風景と作品解説の様子

◇滋賀読売競書大会は、四月二十七日（土）～二十九日（月）大津市歴史博物館にて滋賀書作家協会会員展、全国シルバー書道滋賀展と同時開催されました。

教室紹介 蒼風教室…改発蒼風先生

蒼風教室は、午前には成人の方が、午後は幼児～中学生までの生徒さんが通ってくださっています。少人数の和やかな雰囲気の良い教室です。成人の方は皆さん熱心で、毎回集中して取り組んでおられます。生徒部は時にはわいわいとにぎやかな時もありますが、熱心に課題に取り組む姿や、楽しく通ってくださることが嬉しいです。

これからも、書道の技術の向上とともに字を書くことが楽しいと思っていただける教室にしていきます。



生徒部八段位試験 合格者

樋口文音	中二	湖城	毛筆
大黒叶乃	中三	守山駅前	硬筆
小林千織	中三	守山駅前	硬筆
黒川莉心	中一	彦根稲枝	毛筆
中村桃花	中二	野洲駅前	毛筆
川島ゆらん	中三	蒲生	硬筆
◆二〇一九年七月実施			
樋口文音	中二	湖城	硬筆
谷元優稀	中三	文英学院	毛筆
中山真尋	中三	城北	毛筆
梶原遼太	中三	蒲生	毛筆

生徒部八段位試験課題 「わたしと習字」

彦根稲枝教室 中一年 黒川莉心

私が習字に出会ったのは、五歳の時です。お母さんに連れられ習字の体験へ行ったのを今でも覚えています。あの時、私は「明日から習えるの」とお母さんに尋ねたそうです。

保育園の時は、とにかく字を書いているだけで嬉しくて、時間があつという間に過ぎました。学年が上がるにつれて、難しくなっていくと同時に達成感が味わえるようになりました。また、段級が上がると共に、自信とやる気がわいてきて、八段になりたいという大きな目標ができました。

そして、納得いかない事や集中力がもたない時もありながら、それにより努力し続ける事の大切さを学びました。小学五年生になってくると、ミリ単位での直しが増えていきました。最初は「これくらい」と思っていました。後々こんなに細かい直しても段級が上がる事があるんだと知り、目標に向けコツコツと地道に頑張れる自分になりました。

私は八段試験なんて、まだまだだと思っています。ですが、これまでの努力が報われ、このような日を迎える事が出来て本当に嬉しいです。また、時に励まし時に厳しく指導して下さいました先生方や家族に改めて感謝の言葉を伝えたいです。

これから、行書だけでなく難しい字も増えてくると思うので、段級が上がるように日々練習に取り組み、今まで以上に美しい字を書けるようになります。ここまで努力してきた道を断ち切る事なく、これまで以上に突き進んでいきたいです。

「わたしと習字」

湖城教室 中二年 樋口文音

私は小学校一年生のときに習字を習い始めました。鉛筆の持ち方を正しくして、字が上手になつてほしいとお母さんとお父さんが習わせ始めました。最初の頃は、上手に書けた時に、先生にほめられるのが嬉しくて、ほめてもらうために、一生懸命練習しました。習い始めて一年がたった頃には、友達も出来て、毎週の習字の時間が楽しみになりました。しかし、小学五年生ぐらいになると、思うように字が書けず悩んで泣いてしまうような時期もありました。しかし、先生は私に丁寧に優しく書き方を注意してくださり、落ち着いて書くことで、どんどん昇段していくのを見るのは私の一つの楽しみにもなりました。そして、ずっと続けることによって、普段の字も丁寧に書くようになります。文字を書く時の姿勢も良くなり、鉛筆も正しい持ち方で持てるようになりました。

私にとつて習字とは、精神を集中することが出来る唯一のことです。だから、中学三年生になっても、高校生になっても、習字を続けたいと思います。私は今中学校で、書道部に所属しています。週に三回という短い活動時間の中頑張っています。しかし短いからこそ、より集中出来ると思うので、もっと気合を入れて部活に励みたいと思います。そして、習字を習っているお姉ちゃんよりも美しい字を書けるように、今まで以上に頑張つて練習したいと思います。

おめでとうござりますー！



受賞者報告



【読売新聞紙上展】

◎文英学院教室

《佳作》

- 小三 吉本 琴音
- 小四 谷川 友埜
- 小五 加藤 歩夢
- 小五 西山 千柊
- 小五 白石 千咲
- 小六 柴田 唯花

◎西今教室

《佳作》

- 小二 吉田 穂香
- 小二 大飼 果穂

◎松原教室

《佳作》

- 小五 榎本 結香
- 小六 袖野 瑛太

◎立田教室

《佳作》

- 小五 川中 咲季
- 小五 川立 心結

◎大萱教室

《佳作》

- 中一 山本 凜

【全日本小学生・中学生書道紙上展】

《準ベスト50》

◎松原教室 小五 藤原 悠雅

【読売書法展】

《秀逸》 伊部芳翠・宮崎恵舟・改発蒼風

《入選》 日下部雅苑・河野翠風・織田蒼雪

井上照華・山川桐葉・森永圭霞

小濱翠鳳・人部京翠・内山暢聡

【玄心展】

玄心賞 宮崎恵舟

おめでとうございます！



創立四十周年記念事業

第四回 奏楽展



書と押絵



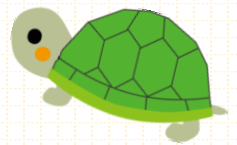
書と墨彩画

六月二十八日（金）～六月三十日（日）
 守山市民ホール展示室にて第四回奏楽展を開催
 致しました。
 今年は、大型作品に加えて、押絵、墨彩画との
 コラボレーションを行い、彩り豊かな作品展と
 なりました。

ちょっと豆知識

「紙の裏表・上下」

《紙の表裏》



紙にも表裏があります。どちらが表か分からなくなった時はまず紙の表面を触ってみると良いでしょう。一般的に、スベスベしたなめらかな方が表、ちよつとザラザラしたほうが裏です。紙を漉く時にすくい上げる行程で表裏ができるため、表面に凹凸のある面が裏になり、均等な面が表です。

手触りの質感で判断するとわかりやすいですね。手漉きの紙の場合、他にも表裏を見分けられる方法があります。それは紙の裏面に見られる「刷毛目」です。紙を作る工程を考えるとその理由が分かります。手漉きの紙を作られる時には大きな鉄板に貼りつけて紙を乾かす工程があります。鉄板と紙の間に空気が入らないように刷毛で裏面を撫でるため、よく見れば手漉きの紙の裏面には刷毛の跡（刷毛目）があるのがわかります。機械漉きの紙では大きな機械式に代わり、そういった手作業はありませんので、刷毛目がつくことはありません。刷毛目があるかないかが大きなポイントです。

紙をよく見ないと刷毛目がわかりにくいかもしれませんが、表裏を判断する上で有効な手段だと言えます。刷毛目がない場合も考えてみましょう。実は手漉きの紙でも機械漉きの紙でも、製造工程

の時点で紙に表裏が生まれます。手漉きの紙でいうと、すのこの接着面が紙の裏になります。すのこに接着している面は凹凸が生まれるためザラザラとした質感になります。機械漉きの紙は、毛布と巨大なローラーに挟まれて出来上がりです。毛布があたっている面が紙の裏になります。

刷毛目のような特徴がないため、なかなか目で見るだけでは見分けが付きにくいところかもしれません。大きなサイズの紙を購入したときも、表裏が分りにくいことがありますね。

画仙紙や中国の宣紙など大きなサイズの紙は一反が四つ折りに畳まれています。この場合は折り畳まれている内側が表になります。

《紙の上下》

紙の上下を見分けるには、まず紙に模様があるかないかで考えてみましょう。文様や植物柄など、紙に柄があるものがあります。

植物柄などには上下がありますから、柄の向きを考えると分かりやすくなります。上下区別なく使える連続紋様がありますので、その場合はどちらでも構わないでしょう。

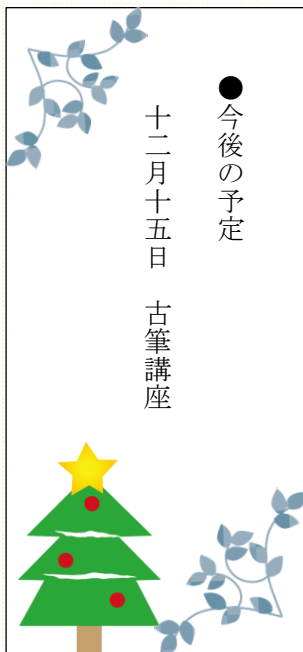
柄などがなく無地の場合は上下の区別はありませんから、お好みでお使いいただけます。四角形の色紙などでも、上下の区別に悩む方も多いのではないのでしょうか。

色紙の場合は、無地や金縁無地のものは上下の区別なくお使いいただけます。もし柄や色などがある場合は、それぞれに上下が考えられます。例えば、上下に模様がある色紙なら、模様と色紙の端の余白が多いほうが上で、少ない方が下になります。砂子の散らしが入っているものは、散らしが細かい方を下に、大きい方が上になります。平均的に散らしが入っている場合は、散らしの余白が多い方が上に、少ない方が下になる方がバランスよく美しいでしょう。色が付いたもの場合は、景色で考えるとわかりやすくなります。空をイメージする青色系は上に、土をイメージする茶色系は下にするとういでしょう。濃淡がある場合は、濃い方を上に、淡い方を下にするとういでしょう。

書遊 Online (<http://shoyu-net.jp/>) より

●今後の予定

十二月十五日 古筆講座



◆編集後記◆

今年には混陽会創立四十周年記念の年であり、音楽展では大型作品に加え、押絵・墨彩画とのコラボレーションを行いました。また、混陽書道展では、子供から大人まで出品者全員が新元号「令和」の文字の小作品を制作しました。筆記具は筆に限りません。自由な発想の作品は会場を華やかに彩るものと期待しております。四十年を振り返る写真パネルや、古典・古筆・調和体講座の作品も展示致します。来場者も、会員も楽しめる場にしていきます。 (MK)